

2016年9月16日

**電通、「機械知能」(MI)が生成するミュージックビデオを制作
— ブライアン・イーノ氏とのコラボレーション作品を特設サイトで公開 —**

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：石井 直）においてテクノロジー起点の新しい表現開発に取り組む制作チーム「Dentsu Lab Tokyo」（電通ラボ東京）※¹は、世界的に著名な英国のミュージシャン Brian Eno 氏（ブライアン・イーノ）※²とともに、人工知能（AI）の可能性を追求する先鋭的なプロジェクトを発足。イーノ氏が作曲した最新楽曲「The Ship」に合わせて、映像が自動的かつリアルタイムに生成されるミュージックビデオを本プロジェクトの特設サイト（<http://www.theship.ai>）上に公開しました。

今日、人々のさまざまな生活シーンにおいて、AIの利活用が進んでいます。本プロジェクトは、AIを「人間の知能」と対比しその違いを際立たせるために「機械知能」(Machine Intelligence : MI)と名付け、機械が人間のようなクリエイティビティーを発揮できるかを模索するものです。具体的には、人類共有の外部記憶ともいえるインターネットから、20世紀以降のエポックメイキングな出来事を記憶として大量に学習させた機械知能を構築し、それが世界的な報道機関が運営するニュースサイトのトップニュースを見て、記憶と照らし合わせながら類似する事象を解釈し、映像を生み出していけるかどうかにはチャレンジしたものです。

特設サイトにおいては、来訪者ごとに視聴できるミュージックビデオが異なってきます。これは各人がアクセスした瞬間に映像が生成されるためです。訪れる度に唯一無二の作品として、楽曲が持つ世界観とともに人々の感性を刺激し続けます。

■特設サイトの視聴環境

携帯端末向けには最適化されておりませんので、ご覧いただくためには、下記パソコン環境でのブラウザーを推奨します。

Windows

- ・ Google Chrome（最新版）、Mozilla Firefox（最新版）

Macintosh

- ・ Safari 5.0以降、Google Chrome（最新版）、Mozilla Firefox（最新版）

以上

※1 Dentsu Lab Tokyo について

新しいクリエイションとソリューションの場であると同時に、研究・企画・開発が一体となった“創りながら考えるチーム”でもある Dentsu Lab Tokyo は、2015 年 10 月 1 日に始動。これまでの広告会社のアプローチとは全く違う、テクノロジー起点の新しい表現開発に取り組んでいます。

キーワードはオープンイノベーション。電通社内のみならず、社外の提携アーティストやテクノロジストとも協働しながら、広告領域にはとどまらない分野のクリエイションとソリューションを手掛けています。

※2 Brian Eno 氏（ブライアン・イーノ）について

ミュージシャン、作曲家、プロデューサー、作家、現代思想家、政治活動家として活躍、これまでに残してきた先進的な作品は多岐にわたる。音楽キャリアと並行して、光や映像を駆使した実験的なビジュアルアーティストとしても世界中で活躍。彼の幅広い活動には、Windows 95 の 6 秒の起動音の制作、Bloom や Trope、Scape といった数多くの音楽自動生成アプリの制作などが含まれる。グラミー賞ノミネート作品「LUX」以来となるソロアルバム「The Ship」を 2016 年 4 月にリリース。

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社電通 コーポレート・コミュニケーション室 広報部
長澤、徳田 TEL : 03-6216-8041

【事業に関する問い合わせ先】

株式会社電通 CDC Dentsu Lab Tokyo
加藤、小川 TEL : 03-6216-8756
Email : dentsu-lab-tokyo@dentsu.co.jp